

日本遺産を世界へアピール

**JICA筑波センター外国人研修員が
安積疏水関連施設等を視察します**



ターゲット 6. a



ターゲット 17. 17

2025 年 7 月 22 日
郡山市文化スポーツ観光部
観光政策課
課長 遠藤 英樹
TEL：924-2628

SDGs ターゲット 6. a 「開発途上国における水と衛生分野での活動と計画を対象とした国際協力と能力構築支援を拡大する」

SDGs ターゲット 17. 17 「効果的な公約、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

独立行政法人国際協力機構（JICA）筑波センターにおいて、灌漑施設の維持・運営管理を学ぶ外国人研修員が、研修の一環として、本市及び猪苗代町の安積疏水関連施設等を視察します。

1 日程

期日	時間	視察・見学場所
7/25（金）	9:30～11:30	安積疏水土地改良区、水管理センター （郡山市開成二丁目 22-2）
	13:00～13:30	上戸頭首工 （猪苗代町山潟）
	13:40～14:10	田子沼分水工 （猪苗代町山潟字沼上山 1043-30）
	14:20～15:00	沼上発電所 （郡山市熱海町安子島字固後利山 3-1）

2 参加者 外国人研修員 13 名

ブルキナファソ、ブルンジ、カメルーン、コンゴ民主共和国、ガンビア、
ガーナ、リベリア、マダガスカル、モザンビーク、セネガル、南スーダン、
ウガンダ、ザンビア

通訳・担当者 3 名



▲昨年の視察研修（安積疏水土地改良区、上戸頭首工）の様子（2024 年 7 月）

<安積疏水関連施設におけるＪＩＣＡ視察研修の受け入れについて>

開発途上国において、灌漑施設の管理手法や農村開発は重要なテーマであり、日本に学びに来る研修員にとって、「世界かんがい施設遺産」にも登録されている安積疏水は、その背景や仕組みから自国の発展に寄与する有意義な研修素材であることから、本市では、国際貢献の観点を踏まえて、2019年からＪＩＣＡ視察研修を積極的に受け入れており、今回で11回目となります。今年6月には、ＪＩＣＡ東北センターの視察研修も行われました。

視察の一部は、日本遺産ストーリー「未来を拓いた『一本の水路』」の構成文化財となっていることから、今後のインバウンド誘致による観光促進についても期待できるものとなっています。